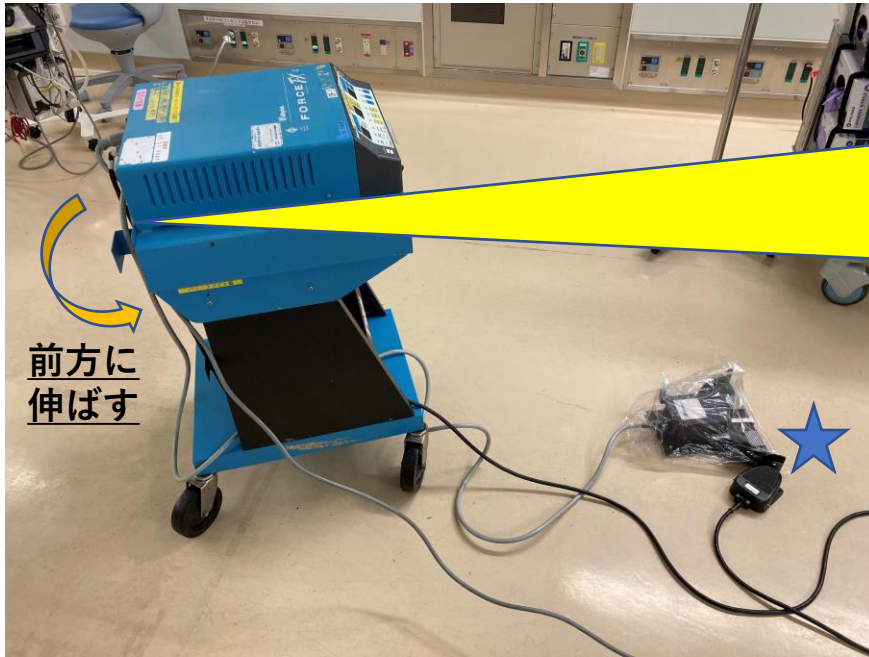


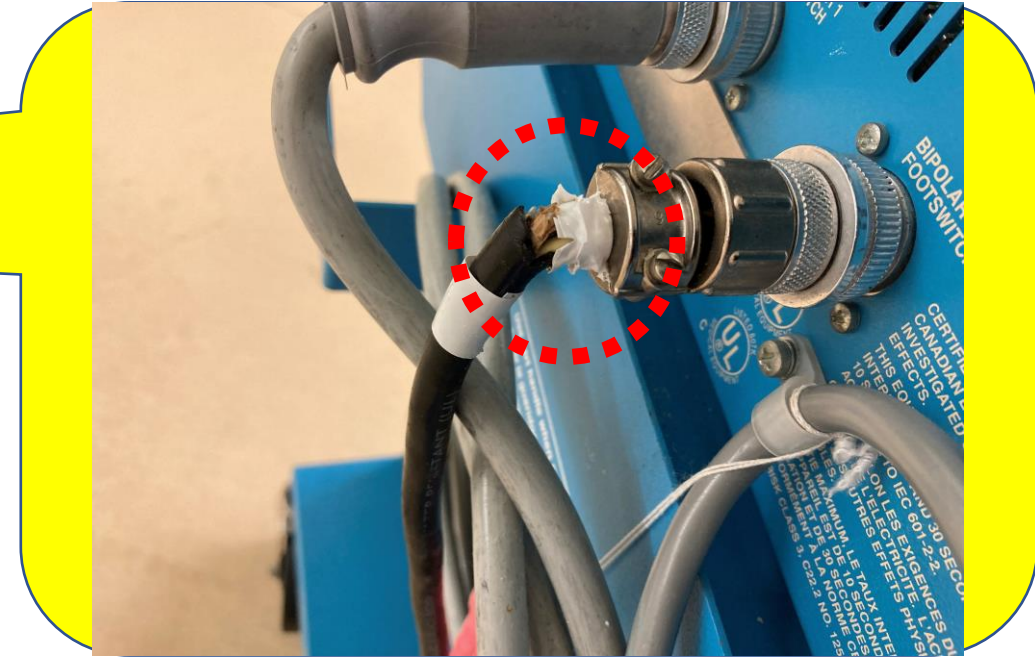
医療機器コード断線予防器具 に関する提案

秋田大学医学部附属病院 臨床工学センター
臨床工学技士 熊谷崇嗣

概要・必要性



↑電気手術器（電気メス）
足で出力操作するフットスイッチ（★）を
前方に伸ばして使う。



↑曲げ・伸ばしが繰り返されることで
コネクタ～コード移行部分などの段差に負荷がかかり
被覆露出、断線の要因となりやすい。

●医療機器の保守管理上大きな問題となってくる“コード根本の断線”

●多くは工業規格（JIS）や薬事承認に沿った各メーカー独自設計であり、
代替が効き難く、修理もできないため買い替えとなっている。



↑株式会社ドリームズ オンラインショップ HPより画像引用
<https://www.dreams6-shop.com/SHOP/169886/list.html>



↑ケーブルバイト®でケーブル補強した例

● コードの根本に外付けする形で装着できる補強器具があれば、コード断線による修理・買い替えコストの削減のほか、日常使用における不意な機能喪失を防止できるのではないかと。

● スマートフォン充電ケーブルにおいて、同様のコンセプトのグッズが既に存在している（ケーブルバイト®、上記写真）。



↑シープリン

公益社団法人日本臨床工学技士会 人材活性化委員会HPより画像引用
https://ja-ces.net/soshiki/?page_id=941

- 医療機器で用いられる**太径コード**に対応して頂きたい。
径にもよるが医療現場だけでなく多様なシチュエーションでの利用（一般需要）も期待できる。
- 医療現場で使用されるためシンプルなデザインも良いと思われるが、日本臨床工学技士会のマスコットキャラである“シープリン”とコラボすればデザイン性の向上、一般向けに販売する際の目の引きやすさに繋がるのではないかと考える。（日本臨床工学技士会と要相談、利用内規あり）